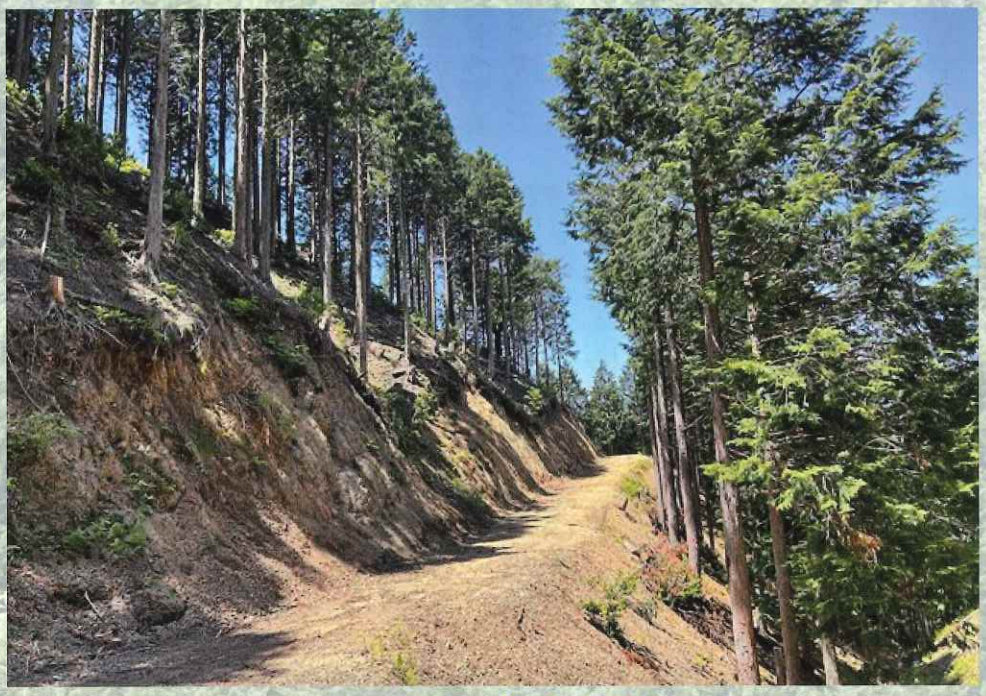
# やまびこ

No.93



揖斐郡森林組合
Ibi Forestry
揖斐川町上南方１９７３番地の３７０　0585-22-6511

# 第三十一回 通常総代会開催

去る三月二十六日、揖斐川町地域交流センターにおいて、第三十一回通常総代会を開催致しました。

総代数二百名のうち、書面出席者数六十九名、本人出席者数七十六名、合計百四十五名のご出席をいただきました。

議長には、春日地区の野原英司様が選出され、議案の審議が進められました結果、八議案すべて原案どおり承認されましたので、ご報告致します。

ご出席、書面出席いただきました、総代の皆様にお礼を申し上げるとともに、組合員の皆様の、ご支援とご協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。承認いただきました議案は次のとおりです。

## 議決事項

**第一号議案**
令和七年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について

**第二号議案**
令和八年度事業計画の設定について

**第三号議案**
令和八年度借入金最高限度額の決定について

**第四号議案**
令和八年度余裕金預入先金融機関の決定について

**第五号議案**
令和八年度一組合員に対する貸付金の最高限度について

**第六号議案**
森林組合定款並びに関連規程（共同施業規程、森林組合規約、役員退任慰労金規程）の一部改正について

**第七号議案**
任期満了に伴う役員選任について

**第八号議案**
令和八年度役員報酬の決定について

## 令和七年度 事業報告

近年は全国的に異常気象や自然災害が頻発し、豪雨による土砂災害や林地荒廃の問題が各地で発生するなど、森林を取り巻く環境は厳しさを増しています。気候変動の影響が顕著となる中、森林整備の重要性と持続可能な森林経営の必要性を改めて認識する状況が続いています。また、国際情勢の不安定化に伴う物価高騰は収まらず、林業経営においても資材価格の上昇など大きな影響を受けた年でもありました。こうした状況下においても、組合では各種事業に積極的に取り組み、事業量の確保と拡大に努めてまいりました。

販売部門では、素材生産体制の強化を継続的に進め、林業機械（プロセッサ、スイングヤーダ）の導入とあわせて素材生産量の拡大に取り組みました。安定した素材供給体制の構築を進めるとともに、現場力の強化を図りました。

森林整備部門では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した保育間伐、里山林整備事業、花粉発生源対策に基づく少花粉スギのコンテナ苗植栽、獣害対策事業などを実施しました。また、岐阜県政策オリンピック「安心と共生のニホンザル対策事業」において、不





成績造林地等への広葉樹植栽を行い、生態系保全と地域課題の解決に取り組みました。

森林経営計画の認定については、従来の林班単位から区域単位での計画へと変更し、既に樹立している揖斐川町内（谷汲・春日・坂内）、池田町の計画区域の拡大および、旧揖斐川町の区域計画の樹立に取り組みました。

人材の確保・定着に向けては、昨年度に実証実験を行ったＩＣＴツールを本格導入し、電波不感地帯の解消や現場との円滑なコミュニケーションを実現しました。これにより、安全性の向上と作業効率の改善が進み、働きやすい職場環境づくりに寄与しました。

十二月には林業交流施設の建設に着手し、今後は事務所機能を新施設へ移転する予定です。地域の林業振興の拠点として、多様な交流や学びの場となることが期待されます。

さらに、「ぎふＳＤＧｓ推進パートナー登録制度」において、「ゴールドパートナー」の認定を受け、持続可能な地域づくりに向けた取り組みを進める体制を整えました。岐阜県独自の森林由来カーボンクレジット制度である「Ｇ-クレジット」では、令和七年度に四百九十一ｔ-ＣＯ２の認証を受け、販売を行いました。これらの取り組みを通じ、地域の森林資源を活かした環境貢献と新たな価値創出に努めました。

以上の状況の下、組合の決算状況については、事業総収益が計画対比百四パーセント、当期剰余金が七百九十八万円となりました。このような実績を収めることができましたのも、ひとえに組合員の皆様のご理解とご協力、さらには国・県・町および関係機関の皆様からのご指導とご支援の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

## 個別事業概況

**○指導部門**
組合機関誌「やまびこ」を発行し、組合の取り組みや森林・林業の動向、木材市況などの情報提供を行いました。

「いびがわ産業フェスティバル」などのイベントでは、県産材を使った木工体験を実施し、木育の推進に努めました。

地元の小中学生を対象に森林やＳＤＧｓをテーマとした講話を行い、森林の役割や木材利用などについて理解を深める機会としました。

**○販売部門**
本年度の販売部門においては、これまで以上に森林資源を無駄なく有効に活用することを基本方針とし事業を実施しました。施業の実施にあたっては森林技術職員との打合せを重ね、地形条件・路網状況を踏まえた作業方法の検討を行い素材生産に取り組みました。その結果、利用間伐については百四十二、九四ヘクタールの事業地から材積五千六百九、三五六立米、主伐については四、九六ヘクタールの事業地から材積五千九十一、二五七立米を生産・販売することができました。主伐は花粉発生源対策事業を活用し、花粉の発生を抑制するとともに森林の更新を図りました。

これらの取り組みにより、総生産量は一万七百、六一三立米に達し、昨年と同様に前年を上回る結果となりました。生産された素材については、用途に応じた適正な仕分けを行い製材用・合板用、バイオマス燃料等のチップ用として直接工場へ出荷し、概ね安定した取り引きを確保することができました。

素材生産事業の一環として、昨年に引き続き椎茸原木の生産にも取り組みました。広葉樹資源を有効に活用し、多様な木材需要への対応を図ることを目的として行ったもので、小規模ではありますが、森林資源の活用に寄与するものと考えます。

**○森林整備部門**
花粉発生源対策事業の一貫作業として皆伐の跡地四、九六ヘクタールに少花粉スギ及び広葉樹の苗木を九千九百二十本植栽しました。伐跡地を適切に更新することにより、森林の再生を促進するとともに、裸地化による土壌流出等の防止など森林が有する公益的機能の早期回復につなげます。

環境保全林整備事業等を活用し公益的機能の維持・向上を目的とした間伐、放置竹林や危険木の除去など生活保全林の整備を含めた森林整備を二百四十八、六四ヘクタール行い林内環境の改善および周辺森林の保全につなげました。

素材生産事業の円滑な実施を図るため、四千八十七メートルの作業道開設を行いました。設計にあたっては、地形条件や保全対象への影響に配慮し、路線選定や施工方法の検討を行い将来的な継続利用を見据えた路網整備に努めました。

森林公園の草刈りや散策道の危険木伐採等を多数受注することができ、一般事業は計画以上の取り扱いとなりました。破砕（リサイクル）事業は堅調な受け入れが続き、本年度は前年実績および当初計画をともに上回り、安定した事業運営を行うことができました。

## ぎふＳＤＧｓ推進パートナー

当組合が「ぎふＳＤＧｓ推進パートナー制度」において、ゴールドパートナーとして登録されました。森林整備や再造林、木材利用促進、ＩＣＴ活用など、日々積み重ねている取り組みを大切にしながら、これからも着実に進めていきます。

また、当組合が行っている環境学習の取り組みについては、「ぎふ環境情報ポータルサイト」にも紹介されました。地域の子どもたちや学校との関わりを通じて、森林の役割や林業の仕事を伝える機会が広がっています。

森林を守り育てることは、地域の環境保全や脱炭素にもつながる大切な取り組みです。今後も、森林資源を活かした地域循環型の取り組みを続けながら、持続可能な地域づくりに向けて模索を重ねていきたいと考えています。

ぎふSDGs推進パートナー
登録証授与式

出前授業の様子

## 県産材利用促進協定

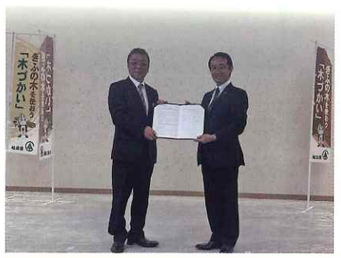
当組合は、県産材の利用拡大を図るため、「県産材利用促進協定」を締結し、地域材の活用に努めています。

昨年12月には、組合敷地内に新たな林業交流施設の建設工事に着手しました。施設名称は Grand hütte IBI（グランヒュッテいび）と決定し、完成後は事務所機能も移転する予定です。新施設の整備にあたっては、県産材を積極的に取り入れています。

地域の森林から生まれた木材を地域の施設に使うことで、森林資源の循環と地域経済の活性化につながる取り組みとなっています。

今後も、地域材の活かし方を探りながら、森林と地域がつながる取り組みを続けていきます。

Grand hütte IBI　安全祈願祭（令和7年12月）


県産材利用促進協定締結式

## ぎふ木遊館サテライト施設

揖斐川町では、県が進める「ぎふ木遊館サテライト施設」の整備が計画されており、その建設に向けて使用される木材の搬出を、当組合が担当しました。

地域の森林で育った木が、地域の子どもたちの体験の場へと姿を変える取り組みです。木の香りや手触りを通じて、森林の恵みを身近に感じてもらうことは、木育の推進にもつながります。

また、地元材を使うことで、森林資源の循環や地域経済への還元にも寄与します。地域の山で育った木が、地域の未来を担う子どもたちの学びの場へとつながります。そんな“森と地域をつなぐ流れ”を支える役割を、当組合として担っています。今後も、施設整備の進捗に合わせて、地域材の活かし方を探りながら、木育の取り組みを広げていきたいと考えます。

いび木遊館（仮称）　完成イメージ

揖斐川町産材の搬出





# 森を活かし、未来を育てる

～揖斐郡森林組合の取組み～

―　木を活かし、未来を育むSDGs　―

## 搬出間伐

森林経営計画に基づき、区域ごとに計画的な搬出間伐を進めています。今年度は、より持続可能で質の高い森林整備を行うため、プランナーとフォレストワーカーが現地検討会を重ね、地形や林況に応じた最適な施業を検討しながら実施しています。

間伐によって森林内に光が入り、植生の再生が促され、健全で災害に強い森林づくりにつながります。

また、施業の集約化と高性能林業機械の活用により省力化・低コスト化を実現し、組合員の皆さまへの還元につながる仕組みづくりを目指しています。

搬出間伐実施後の森林

## 主伐・再造林

国・県の再造林支援策を活用し、伐採と再造林を一体的に実施しています。伐採では「全木集材方式」を導入し、現場整地の負担を軽減。再造林では花粉の少ないコンテナ苗を使用し、将来的な花粉対策を行っています。

急傾斜地などの搬入負担を減らすため、ドローンによる苗木運搬にも取り組み、再造林作業の効率化と安全性向上を図りました。植栽後は獣害防止資材を設置し、苗木の健全な成長を支えています。

また、林地残材をチップ化し、バイオマス燃料として活用するリサイクル事業も継続し、地域資源の循環を進めています。

現地検討の様子

コンテナ苗の植栽

植栽後の獣害防止資材の設置

ドローンによる苗木運搬

## 広葉樹施業

揖斐郡の民有林の約6割を占める広葉樹林を活かし、シイタケ原木の生産に取り組んでいます。伐採・玉切り・搬出までを一貫して行い、地域内外の需要に応じて出荷しました。

広葉樹は施業が難しい面もありますが、山林の多様性を保つうえで重要な資源です。原木としての利用は経済的価値を生み出しつつ、広葉樹林の適正管理にもつながります。

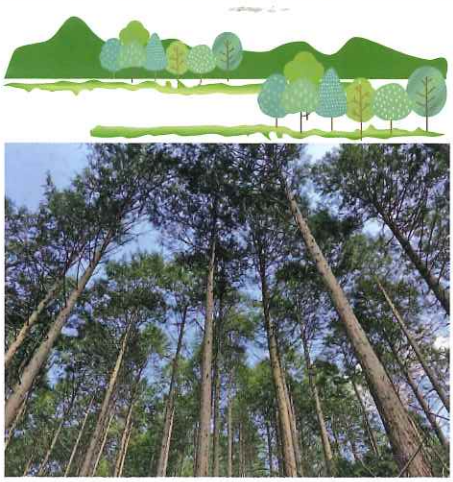
今後も広葉樹の特性を活かした利活用の可能性を探りながら、地域の森林に合った取り組みを模索していきます。

施業を行った広葉樹林

チェンソーによる造材

生産したシイタケ原木

## Gークレジット



当組合では、岐阜県独自の森林由来クレジットである「Gークレジット」の創出と販売に取り組んでいます。

森林整備を進めることで吸収された二酸化炭素量がクレジットとして認証され、企業や団体の脱炭素の取り組みに活用されています。

森林を整備し、その成果をクレジットとして循環させることで、地域の脱炭素と森林資源の保全に貢献する取り組みを今後も続けます。

**Gークレジット**
**令和８年度認証　クレジット量　649t－$CO_2$**

## 組合からのお願い

以下に該当する変更が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要になります。

円滑な組合運営のために組合員台帳の整理にご協力をお願い申し上げます。お手数をおかけいたしますが、当組合までご連絡いただくか、組合ホームページ内の『組合員お問い合わせフォーム』をご活用くださいますようお願いいたします。

**１．死亡による相続**

組合員様（やまびこの宛名の方）が亡くなった場合、相続の届出書の提出をお願いしております。

**２．譲渡**

組合員様（やまびこの宛名の方）から生前譲渡を行った場合、譲渡の届出書の提出をお願いしております。

**３．記載事項（住所変更等）**

組合員様（やまびこの宛名の方）の住所や、会社の名称などの変更があった場合、名称変更届出書の提出をお願いします。

揖斐郡森林組合HP
https://www.ibishin.org/

# 第一九〇二回県森連岐阜共販所市況速報

| 樹種 | 長さ | 径級 | 平均値 | 高値 | 荷動き状況 | 気配 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| すぎ | 3.0m | 13下cm | 8,000円 | －円 | △ | → |
| | | 14 | 12,800 | － | △ | → |
| | | 16～18 | 14,600 | － | ○ | → |
| | | 20～22 | 15,100 | － | ○ | → |
| | | 24上 | 13,300 | － | ○ | → |
| | 4.0 | 13下 | 8,500 | － | △ | → |
| | | 14 | 12,700 | － | △ | → |
| | | 16～18 | 13,500 | － | ○ | → |
| | | 20～22 | 14,500 | － | ○ | → |
| | | 24～28 | 14,300 | － | ○ | → |
| | | 30上 | 13,000 | 15,000 | ○ | → |
| | 6.0 | 16～22 | 17,000 | － | △ | → |
| ひのき | 3.0 | 13下 | 10,000 | － | △ | → |
| | | 14 | 15,000 | － | × | ↘ |
| | | 16～18 | 19,500 | － | × | ↘ |
| | | 20上 | 18,000 | 22,100 | × | ↘ |
| | 4.0 | 13下 | 11,000 | － | △ | → |
| | | 14 | 15,000 | － | △ | ↘ |
| | | 16～22 | 20,000 | － | △ | → |
| | | 24～28 | 19,000 | － | △ | → |
| | | 30上 | 18,000 | 30,300 | ○ | → |
| | 6.0 | 16～18 | － | － | × | → |

※表中平均値は２番直材
・荷動き状況：○良好　△普通　×不良

関市倉知字物見山4660－16
岐阜林産物共販所
Tel　0575－24－6077　Fax　0575－22－2956

**概況**

定例市を開催した。スギは保合い基調で、ヒノキ全般に軟調で、柱、土台需要の低迷を背景に弱含みで推移した。出材は春先から増加しており、供給は緩み気味。

出荷者各位には、厚く御礼申し上げます。

**システム販売**

**月間需要量**　※岐阜共販所管内

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| スギ | 3ｍ | 柱用素材 | 16～24cm | 250㎥ |
| | 3ｍ | ラミナ剤（集成材原料） | 24cm～ | 500㎥ |
| | 4ｍ | 構造材用素材 | 16～42cm | 500㎥ |
| | 4ｍ | 合板工場用素材 | 28～42cm | 300㎥ |
| ヒノキ | 3ｍ | 柱用素材 | 16～22cm | 50㎥ |
| | 4ｍ | 土台他用素材 | 16～22cm | 150㎥ |
| | 4ｍ | 合板用素材 | 18cm～ | 400㎥ |

**市況**

スギ４ｍの元木、尺上良材は出材が少なく、入札は正常。価格は保合。
スギラミナ向け３ｍ・４ｍ材は強含み。
ヒノキ元木良材４ｍは出材が少なく、入札は平常。
ヒノキ３ｍ・４ｍの構造材の価格は弱含み。
合板向けについては、価格は保合ながら納材は順調。

◎造材は、合板用も含め、元株の処理・余尺及び段切り・斜め切り等ないよう、基本作業の確認をお願いします。並材、合板向けの余尺は0.10m～0.15mでお願いします。
◎製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。
◎出材を予定される場合は共販所担当者まで、御一報下さい。

令和８年５月12日